

志木地区衛生組合(志木市・新座市・富士見市)の

資源プラスチック・びん・缶・ペットボトルの流れ

撮影 H19.10.16

志木市、新座市、富士見市の三市（人口約33万人）によって、構成される「志木地区衛生組合」には、新座環境センターと富士見環境センターの二施設があります。

富士見市勝瀬にある富士見環境センターには、焼却施設（昭和61年完成、日量180トン）の他、粗大・不燃等の処理設備と、びん、缶、ペットボトルの処理施設があります。

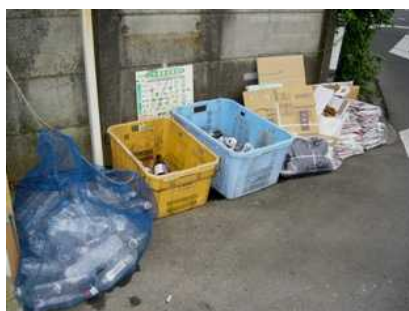
さらに容器包装リサイクル法の「その他プラスチック」施行後に「リサイクルプラザ利彩館」が着工され、平成13年11月から、「資源プラスチック」中間処理施設が稼働しました。

利彩館は資源プラスチック処理のようすが、いつでも見学できるように整備された施設です。さらに粗大ごみからの家具の展示販売（抽選）、啓発展示、資料の閲覧、古布を利用して作品を作る講座の開催などが行われています。

三市では、「資源プラスチック」として、容器包装と日用品などの廃プラスチックが収集されています。市民が集積所ごとに設置されたネット袋にバラにして出す形となっています。これは、汁などが入らないように、また、分別のようすが、外からすぐみえるようにするためです。



↑ ネット袋による資源プラスチック収集 毎週1回
右のコンテナは不燃ごみ 月2回 （志木市）



↑ びん、缶、ペット、古紙、古布収集
毎週1回（志木市）



リサイクルプラザ利彩館
資源プラスチック中間処理施設
3R啓発施設が併設されている



富士見環境センター
焼却施設 びん、缶、ペット、粗大、不燃処理



収集のパッカー車から、下ろされた資源プラスチック



ベルトコンベアで、流される



↑手選別ライン



↑手選別ライン



混入していた異物 金属缶、ペットボトルなど



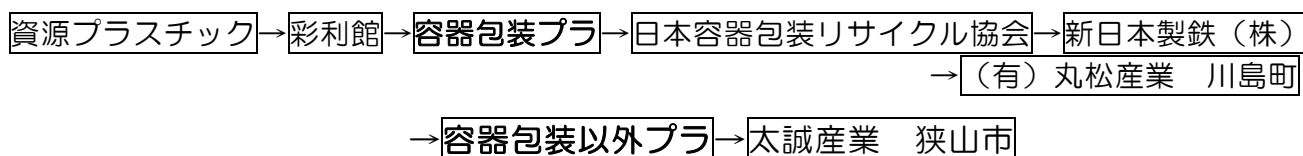
危険な医療系の異物がときたま混入している
点滴パックなど



← プレス梱包されて搬出を待つ資源プラスチック

三市から収集された資源プラスチックは、富士見環境センターの敷地内にあるリサイクルプラザ利彩館に運び込まれます。収集車から下ろされたプラスチックは、1階から、ベルトコンベアーで2階に上げられ、ボトル系とフィルム系に機械選別されて、手選別ラインのベルトコンベアーに流され、日本容器包装リサイクル協会ルートに流れるものと、容器包装以外のプラスチックに分けられます。異物も取り除きます。平成19年度は容器包装リサイクル協会ルートは、入札により、新日本製鉄（ケミカルリサイクル）と、丸松産業（材料リサイクル）の2箇所に運ばれ資源化されています。

志木地区衛生組合の資源プラスチックのフロー

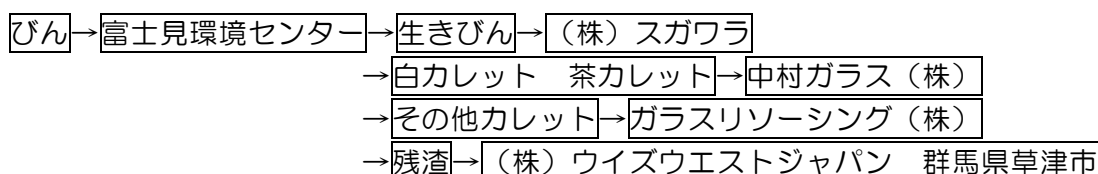


* 新日本製鉄の容器包装プラスチック資源化:コークス炉化学原料化法(ケミカルリサイクル)については、「新日本製鉄」ホームページ <http://www0.nsc.co.jp/kankyou/> 「環境・社会報告書2007」の26ページ、27ページにあります。

* 丸松産業は材料リサイクルです。
日本容器包装リサイクル協会ホームページに材料リサイクルの製品例が出ています。
http://www.icpra.or.jp/consumer/fr_consumer01.html

* その他、容器包装プラスチックに関する情報は「プラスチック容器包装リサイクル推進協議会」ホームページにもあります。<http://www.pprc.gr.jp/>

志木地区衛生組合びんのフロー



↑びんとスプレー缶の手選別ライン



生きびん

* ガラスびんの3Rについては「ガラスびんリサイクル促進協議会」ホームページにくわしく出ています。
<http://www.glass-recycle-as.gr.jp/>

志木地区衛生組合 缶・ペットボトルのフロー

缶→富士見環境センター→(株)スガワラ

ペットボトル→富士見環境センター→ペトリバース(株)神奈川県川崎市



収集車から下ろされた缶の山



収集車から下ろされたペットボトルの山

- * ダンボールなどの古紙、古布、紙パック、廃食油等については、三市それぞれが、集団回収支援または、民間委託による行政回収、拠点回収などの施策を独自に展開しています



公共施設での紙パック回収 (志木市)



廃食油のリサイクル (新座市)

材質別容器包装のリサイクルについては下記のホームページにくわしく出ています。

- * スチール缶については「スチール缶リサイクル協会」 <http://www.steelcan.jp/top.html>
- * アルミ缶については「アルミ缶リサイクル協会」 <http://www.alumi-can.or.jp/>
- * ペットボトルについては「PET ボトルリサイクル推進協議会」
<http://www.petbottle-rec.gr.jp/top.html>
- * ダンボールについては「段ボールリサイクル協議会」 <http://www.danrikyo.jp/>

* 紙製の容器包装（ダンボール、牛乳パックなどを除く）については「紙製容器包装リサイクル推進協議会」<http://www.kami-suisinkyo.org/>

* 牛乳パックなどの紙パックについては飲料用紙容器リサイクル協議会
<http://www.yokankyo.jp/InKami/>

☆県内市町村のくわしい「ごみ・資源化データ」をみるには

「埼玉県ホームページトップ」→「県の機関：組織と仕事」→「環境部」→「資源循環推進課：コンテンツ」→「各種調査」→「埼玉県一般廃棄物の排出及び処理状況等」（平成16年度・17年度：県内市町村組合）→「関連リンク：環境省」→「一般廃棄物処理実態調査結果」（平成10年度～17年度：全国市町村組合）

* 容器包装リサイクル法にもとづく全国各市町村ごとの処理先「再商品化事業者」は、日本容器包装リサイクル協会ホームページに出ています。

* 「再商品化事業者関連情報」の「落札結果」<http://www.jcpa.or.jp/recycler/index.html>

* 容器包装リサイクル法にもとづく、再生資源化を実施している全国の「平成19年度登録再生処理事業者リスト」は日本容器包装リサイクル協会ホームページに出ています。

http://www.jcpa.or.jp/recycler/recycler04_19_08.html